

環境学習施設研究部会は、「環境学習施設のつくり方ー地域に多面的価値を創出する施設整備についてー」をテーマに、5月25日(木)13時よりハイブリッドでセミナーを開催し、出演者等を含め62名(会場参加21名、Zoom参加41名)の参加をいただいた。

※映像記録一覧(学会の本研究部会HP)

<https://jsmcwm.or.jp/educational-facility/2023/05/27/2023haru/>

----- 開催プログラム -----

1. 代表挨拶
2. 基調講演 環境省 北垣芳彦氏
3. 全国施設紹介(公募)のご案内
4. 環境学習施設ハンドブック 進捗と予定
5. 施設の課題提議「人材確保・育成」
6. 本年度事業案内、研修セミナーの提案等

花嶋温子代表(大阪産業大学)からの挨拶で始まり、続く基調講演は、ご自身も自治体職員としてクリーンセンターで環境学習を担当された北垣芳彦氏(環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課)から、「廃棄物処理施設における環境学習・普及啓発～地域に多面的価値を創出する廃棄物処理施設～」というテーマでお話をいただいた。廃棄物処理施設を取り巻く状況から、地域に多面的価値を創出する施設整備の促進、そして環境学習と普及啓発について、環境省が把握する現状と施策について語られた。最後に、私見として環境省(国)と環境学習の現場(自治体)の双方の立場における思いや期待を示された。

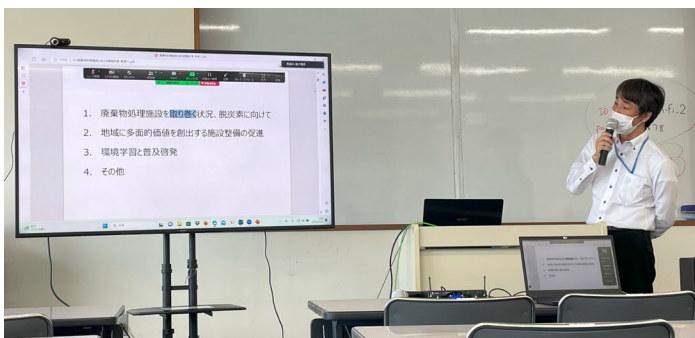


図1 基調講演 北垣氏の説明

次は、全国の廃棄物処理施設の輪を広げ、情報交流を目的とする「全国施設紹介(公募)の

ご案内」を本研究部会代表が説明した。

全国施設紹介(オンライン紹介、展示紹介等)の公募について

本研究部会では、全国の施設連携や情報交流を促進するため、毎月1回ハイブリッドで全国の施設紹介をすることになりました。

対象は、施設見学等の環境学習機能を持つ廃棄物処理施設、独立した環境学習施設や環境学習機能を持つ多目的施設などで。公募期間は特に設けませんので、希望される施設関係のみなさま、ふるってご応募くださいますよう、お願いいたします。

開催場所 : 本研究部会・幹事会場(オンラインもしくはハイブリッド開催)
 日 程 : 毎月第3木曜日午後4時頃から
 所要時間 : 30分前後(質疑時間含む)
 紹介内容 : 施設でお使いの既製パンフレット類を使ってご案内いただきます。必要に応じてPPTなどを共有画面でご利用いただけます。
 参加メリット : 全国への情報発信、また本研究部会を通じて、全国の施設関係者と連携ができます。また、本研究部会が企画している「施設登録制度」へ事前登録されます。
 申込み先 : 事務局(鈴木)までメールでお問い合わせください。

図2 全国施設紹介(公募)のご案内

続いて、山口茂子幹事(川崎重工業)から、環境学習施設ハンドブックの進捗状況として、「月刊廃棄物」連載の記事報告と今後の予定等について説明があった。

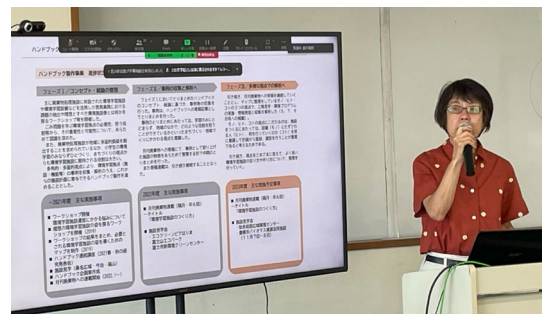


図3 山口氏の説明

そして次は、施設の課題提議として、「人材確保・育成」について、長内隆久幹事(豊田市環境学習施設 eco-T)、東幹事(札幌市リサイクルプラザ宮の沢)の二人が、オンライン登壇で各々が抱える課題を分かち合い、会場やオンラインを交えて討議が盛り上がった。

大型ごみや日用品のリユース・教室・講演会・展示会・リユース食器の貸し出し・おもちゃ病院・日用品のリユース・バスツアー・施設見学
環境イベントなどを行う

良い人材の確保と育成について

<課題>

①雇用契約が単年度契約にせざるを得ない
施設の運営管理業務委託が単年度契約であるため。

②良い人材がなかなか来ない
環境やごみのことをある程度基礎知識や経験のある方は来ない。

③魅力的で働いてみたいと思ってもらえるようなホームページになっていない
「Platform Clover」というポータルサイトで、SDGsとからめて、当法人が実施している内容を情報発信していく予定。
※ <https://platformclover.net/>

④職員研修を受けたくても、業務に追われてなかなかできない
業務の効率化、業務の精査を図っていくしかない。

図4 長内氏(左)と東氏(右)の説明

最後は、事務局から、本年度事業案内、新規事業として検討している研修セミナー提案等をご紹介し、研究討論会を締めくくった。

鈴木榮一(環境学習施設研究部会 事務局)